

能登半島、歴史ロマン満喫の旅日記

OB会一泊旅行は、平成八年、山代温泉から始まり、平成二十七年まで十七回に及び参加された方々には、それぞれ思い出の多い旅になった事と... 能登半島バスの旅でした。北陸自動車道を一路金沢に向かう中、久々に会う仲間と話が弾み時間が過ぎ金沢都ホテルビューに到着、都ホテルのバイキングの昼食は、美味しく大変良かった。食後は、日本三代名園の一つと言われ壮大で、兼六園を後に、ひがし茶屋町を観て歩きました。見所は、国の伝統的建造物群保存地区で、町並みは文化財として守られ、今でも三味線や太鼓の音が聴こえ「キムスコ」と呼ばれる美しい出格子がある美しい町並み、面影を今に残し大切に守られている。今回は、北陸新幹線の開通により外国人の方もたくさん観光に来ていました。ひがし茶屋町を後にバスは、一時間ほど走り能登国一宮氣多大社で旅の安全のお祓いを受け参拝しました。この大社は、天平十三年能登国の中心とした一宮氣多大社で昭和天皇が行幸され「入らずの森」にお踏み入りに成り御製を御詠になられ、今日ではパワースポットとして知られているそうです。一日の観光も終わり今夜は、和倉温泉日本の宿、のと楽に到着。旅の疲れを癒す事ができ、宴会は、七尾湾で獲れた魚などに舌鼓も打ちカラオケで盛り上がり、時間もいつの間にか過ぎ宴もたけなわで止む無く終演となりました。二日目は、能登山海道穴水インターを下車し日本海沿岸白米千枚田に観光、天気はあいにくの雨模様で小雨の中、世界農業遺産白米千枚田の小さな田が、幾何学模様を描き沿岸まで続き秋の収穫が終わった一〇〇四枚を数える田園のコントラストが、何とも言えない牧歌的な美しい風景でした。後にして、今日は輪島の朝市、千年も続く朝市は、食文化の伝承と発展を遂げ今もお食料流通として沢山の方が観光にきていた。バスは、バスが走れる海岸道路では、世界で三箇所だけと言われている千里浜渚ドライブウェイをゆっくりと走り、帰路に向かう。今回の旅も懐かしい会員さんとも出合え、楽しく過ごす事が出来ました。又、今回の旅行に二名の方が初めて参加され、和やかな旅となり次回も沢山の参加者を心待ちにして素敵な出会いを期待して、ペンを置きます。

第一〇ブロック

山岸 卓



H27.10.28 ヤンマーOB会旅行 金沢兼六園にて

山岡墓所へのお参り

故初代社長山岡孫吉翁はじめ歴代社長ご一族故人が静かに眠りになる墓所が、長浜市高月町東阿閉共同墓地にあります。当初は、芦屋市に在ったのが平成十七年四月二十九日に初代社長の生まれ故郷の現在の地に移設されました。それを機会にヤンマーOB会では、墓参をしようとの話がまとまりOB会理事を中心に実施される事となりました。その後、毎年十月にお参りをするのが自然の成り行きのように現在まで、継続されています。今では理事だけでなく、伝え聞いたOB有志も参加され参拝者も増えてきています。お参りの日には西阿閉覚勝寺のご住職にお越し頂き、ご導師をお願いし、参拝者一同で読経を唱えました。初代をはじめ歴代社長の大変なご苦労ご尽力により私達社員に仕事を与えてくださり家族共の生活を支えていただきました。こうした貴いご恩に感謝の気持ちの一端をあらわす機会としても、この「お墓参り」の企画は、有意義なものです。今後とも永く継続される事を願うと共に、墓参日を前もって知らせて頂ければとも考えます。

第十七ブロック 山口 徹

理事会からのお知らせ

平成二八年度 主な行事

六月一九日(日)十一時より 滋賀支部総会 (グランパレー東京)

十月十二日(水)午後より 初代お墓参り

十月下旬頃

OB会 懇親旅行

平成二八年度新理事紹介

- 七ブロック 植松 陽 理事
九ブロック 森田 卓 理事
一七ブロック 福井 宏次 理事
一九ブロック 嘉瀬伊 貢 理事
平成二七年度 米寿を迎えられた会員様
一ブロック 植谷 昭男 様
二ブロック 八木 滋 様
五ブロック 中川 又三 様
二六ブロック 沼波 昭男 様

平成二七年度 逝去された会員様

- 沢村 金吾 様(九三歳)
平塚 正明 様(九三歳)
中川 外弥 様(八六歳)
山瀬 澄雄 様(八四歳)
堀川 保 様(八二歳)
坂東 利典 様(八七歳)
内藤 惣次 様(八四歳)
富田 耕三 様(九五歳)
安藤 剛 様(八二歳)
福田 宏 様(八三歳)
櫻井 忠之 様(七九歳)

ご冥福をお祈りいたします。

事務局移管のお知らせ

平成二八年四月一日より事務局がYBSへ移管となりました。今後とも宜しくお願いたします。

滋賀事業部 長浜市三和町七一三五 〇七四九一六五三一二七 担当 吉原